

広報紙をもっと身近に

毎月2回発行している広報紙「広報いさ」が電子書籍になり、無料アプリ「i広報紙」を利用してスマートフォン等で閲覧できるようになりました。毎月1日と15日には自動でスマートフォン等にお知らせが届き、いつでもどこでも「広報いさ」を読むことができます。



カンタン操作で
いつでもどこでも
広報紙が読める。

広報 i 広報紙

■ i 広報紙とは

自治体が発行する広報紙をスマートフォンやタブレット端末でいつでも読むことができる無料アプリケーション（以下「アプリ」）。



■ どのような機能があるの

- ・伊佐市ホームページに接続しなくても、最新号の「広報いさ」を毎月2回、自動で端末にお届け。
- ・設定した居住地以外に、興味のあるまちを登録された全国の自治体からもう一つ登録可能。
(現住所と出身地など)
- ・画像の切り取り・保存ができるため、メールへの添付やSNS等でのシェアができる。
- ・ページめくりや拡大・縮小も簡単。

■ 問い合わせ先

伊佐PR課交流PR第1係 ☎ 4 1 1 3

■ 使い方は

① i 広報紙をインストール



※一部対応していない機種もあります。販売店にお問い合わせください。

▼ 統一 QR コード



② 個人設定

インストールしたアプリを起動し、郵便番号など簡単設定。

③ 利用開始

「i 広報紙」トップ画面に登録したまちの広報紙最新号を自動表示。

■ 詳しくは「i 広報紙 <http://ikouhoushi.jp/>」をご覧ください

⚠️ ご注意

- アプリの使用は無料ですが、広報紙データをダウンロードする際の通信料が必要です。
- アプリ内の広告は、運営企業である(株)ホープが募集・掲載するもので、市とは関係ありません。
- アプリ導入による不具合について、市では一切責任を負いません。あらかじめご了承のうえご利用ください。



人口のうごき

(住民基本台帳から)

H27. 7. 1 現在 (前月比)

総人口	27,782 人	(- 37)
男	12,857 人	(- 18)
女	14,925 人	(- 19)
世帯数	13,909 世帯	(- 27)

「人に会ったら、挨拶をしましょう」。小学生でも知っている一般常識ですが、大人になると日々の忙しさで、おろそかになることもあります。

挨拶の言葉はそれ自体には意味の無いことでもあります。特に早いわけでもないのに「お早う」。苦勞をねぎらう意味がなくても「お疲れ様です」。でも、その意味のない言葉こそ、コミュニケーションを取るために一番意味のある言葉かもしれません。何より、大きな声で挨拶すると気持ちがいい。

挨拶の方法は国によってさまざまで、言葉を使わずお辞儀をするのも、立派な挨拶だと思います。横断歩道を渡る小学生が信号で止まってくれたドライバーにお辞儀する動画が、海外の人に感動を与えているそうです。赤信号で止まるのは当たり前という意見もありますが、挨拶を続けていると精神的にも良い影響が出るのは間違いありません。笑顔を増やし人間関係を改善してくれて、効果が大きいわりに、簡単に始められる。日本語の豊富なラインナップから、今日はどんな挨拶で笑顔になりましょうか。



編集後記